

Walkable City Minakama

2025年美濃加茂市10大ニュース



第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定 戦略の柱は「教育」！（4月）

市民にとって「住みやすく 住み続けたい魅力あるまち」であるとともに、市外から「住んでみたいまち」と認識されるまちを目指し、「家庭教育」、「幼児教育」、「学校教育」、「社会教育」など、さまざまな分野の教育に、子育て支援に関する政策も含め、「広義の教育」として注力することを定めた『第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略』を策定しました。

この戦略をもとに、美濃加茂市ならではの環境を生かしながら、子どもたちの感性を磨く取り組みを実施していきます。



AI デマンドバス「チョイソコみのかも」 実証運行をスタート（7月）

7月1日㊁から12月26日㊂の間、AI デマンドバス「チョイソコみのかも」の実証運行を実施しました。

「チョイソコみのかも」は、利用者からの予約を電話やインターネットで受け付け、AI 技術を活用して、最適な乗り合わせやルートを自動計算し、停留所間を送迎する利便性の高い乗り合い送迎サービスです。コミュニティバスである「あい愛バス」の乗り継ぎや目的地までの時間を要するという課題を解決し、お出かけを促進する公共交通としての取り組みで、期間中、多くの方にご利用いただき、利便性を実感いただきました。



スポーツと憩い、防災の顔を持つ 友進リバーサイドフィールドがオープン（7月）

7月8日㊱に牧野緑ヶ丘に友進リバーサイドフィールド（牧野ふれあい広場）がリニューアルオープンし、11月にはオープニングイベントを開催しました。

同施設には、市内初となる400mトラックを備えた陸上競技場や多目的広場やアーチェリー場、芝生広場などスポーツの場があり、憩いの場としても利用することができます。

また、大規模災害時には、自衛隊や救援隊などの受け入れや救援物資などの集積地として地域防災拠点の役割を持つ広場となっています。



若い世代がスポーツにおいて活躍（7月～9月）

井戸アビゲイル風果さん（西中出身）が、女子200mで日本記録を樹立し、東京2025世界陸上競技選手権大会でも日本代表として大活躍しました。

また、美濃加茂ジュニア陸上クラブが、第52回全日本中学校陸上競技選手権大会の女子4×100mリレーにおいて、48.19秒の記録で見事優勝しました。

スケートボードの尾関萌衣さん（東中1年）は、「日本オープン・ストリート」で銀メダル、アメリカ（オレゴン州）で開催された大会でも銅メダルを獲得するなど、スポーツにおいて若い世代が躍動しました。



「通学時緊急暑さ対策パッケージ」を実施 小学生と見守りを行う市民が酷暑を乗り切る（8月）

夏の激しい暑さが増す中、児童が安心して学校に通う環境を整えるため、3つの対策を盛り込んだ「児童の通学時緊急暑さ対策パッケージ」を展開しました。

各小学校に計128台の冷凍庫を設置し、下校時に冷えたネッククーラーなどを使える環境を整備。また、市内の事業者に協力いただき、通学時に暑さを避けて一時避難できる施設「こども登下校ひんやりスポット」を全30箇所に設置しました。さらに、児童の通学時に見守りをしていただいているスクールソーターなどに暑さ対策に冷感タオルを計500枚配付しました。



市LINE公式アカウント友だち登録者数2万人達成！ スマホ市役所の機能を拡充し、より便利に（8月）

市LINE公式アカウントの登録者数が2万人を突破しました。これまで、防災や生活情報の配信、ごみ出し検索やオンライン申請など、市民の皆さんに便利と安心を届けてきました。今年度からは本人確認やオンライン決済もスタートしています。

11月には、一部窓口で各種証明書の交付手数料の支払方法として、従来の現金に加え、キャッシュレス決済を導入。これにより、市民の決済手段の多様化に対応するとともに、窓口での現金処理を減らし、利用者の利便性向上や窓口業務の効率化を推進しています。



災害時相互応援やトイレカーの配備、消防団の想定訓練 一丸となって来たる災害に備える（9月～11月）

災害時相互応援に関する協定を埼玉県本庄市、和歌山県由良町と締結しました。

9月には10人乗りの多目的防災車（トイレカー）を導入。平常時は公用車として使用し、有事の際はトイレ、救護室、被災地での活動拠点とするなど多目的な用途で使用を予定しています。

11月に市消防団は、近年世界各地で頻発している大規模火災に備え、山林での火災を想定した訓練を、可茂消防事務組合および岐阜県中濃生コンクリート協同組合の協力を得て、みのかも健康の森で行いました。



美濃加茂ユースセンターがオープン！ 若者の新たな居場所が誕生しました（10月）

10月2日㊱、生涯学習センター6階に美濃加茂市若者活動支援事業として「美濃加茂ユースセンター」がオープンしました。

同センターは、中高生から20代までの若者を対象に、誰でも安心して過ごすことができる「居場所」を毎週㊱に開設しています。すでに多くの中高生が集まり、勉強や遊び、コミュニケーションの場など、それぞれ思い思いに利用し、賑わいをみせています。

この場所を拠点として、地域で活躍する人材の育成を最終目的とした事業を展開していきます。





おん祭 みのかも MINOKAMO 市民花火大会が初の10月開催 秋の夜空に美しい花火が打ち上がる（10月）

近年の40度に迫る夏場の猛暑の影響を考慮し、花火を観覧する人や運営スタッフの健康と安全を第一に考えて、おん祭 MINOKAMO 市民花火大会が木曽川緑地ライン公園で初めて10月に開催されました。

昨年は9月に計画していましたが、雨による木曽川の増水の影響で中止となつたため、今年は2年ぶりの開催となりました。

会場には花火を待ちわびた約4万3千人が来場し、心地良い秋風が吹く中、夜空に咲く大輪の花を楽しみ、大いに賑わいました。



美濃加茂市役所新庁舎の候補地決定 美濃加茂市役所の位置を定める条例が可決（12月）

令和7年第1回定例会において市役所の位置を定める条例の一部改正案が否決されました。

否決後、無作為抽出した市民8,000人を対象とした市民アンケートを実施し、約6割の賛成を踏まえ、新庁舎の整備地を現在の「プラザちゅうたい」の位置とする市の方針を改めて決定しました。

第4回定例会において改めて市役所の位置を定める条例の一部改正案を上程し、可決されました。

可決を受け、令和8年度より新庁舎整備基本計画の策定を推進していきます。

